電話をかける

1 電源が入っていることを確認する

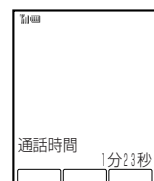
電波状態を確認してください。

2 電話番号を入力する

● **一般電話**
必ず市外局番から入力してください。
● **携帯電話・自動車電話・PHS**
「0」から始まる全桁の電話番号を入力してください。

3 電話番号を確認し、を押す

相手につながると通話できます。通話中は、通話時間の目安が表示されます。

4 を押す

通話が終了し、通話時間の目安が表示されます。V602Tを閉じても通話が終了します。

間違えてダイヤルしたときは

を押すか、を長く（約1秒以上）押して待受画面に戻します。を短く押すと、右端から1桁ずつ消すことができます。

相手がお話し中のときは

「プープー…」という話中音が聞こえます。
を押して電話を切り、しばらくたってからもう一度かけ直してください。

国際電話の使いかた

V602Tから、国際電話サービスがご利用になれます。
詳しくはボーダフォンサービスガイドブックを参照してください。また、操作方法については13-23ページを参照してください。

電話番号を相手に通知するときは

発信者番号通知サービスを受けている場合は、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号を表示させることができます（☞14-2ページ）。

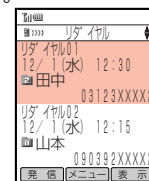
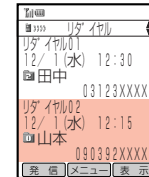
重 要

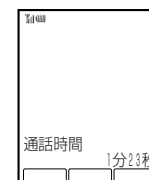
- V602Tのアンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（☞1-7ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。
- イヤホンマイク（オプション品）を本体に巻きつけないでください。また、イヤホンマイクを内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。
- 体の向きや通話している場所によって通話品質が変わることがあります。

■以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前にかけた電話の日時や電話番号を最新の20件まで記憶し、電話をかけ直すことができます。

1 を押す

最後にかけた相手の電話番号と日付・時刻が表示されます。

2 で電話番号を検索する

3 電話番号を確認し、を押す

相手につながると通話できます。通話中は、通話時間の目安が表示されます。

4 を押す

通話が終了し、通話時間の目安が表示されます。
V602Tを閉じても通話が終了します。

シークレットメモリ（☞11-9ページ）に登録された番号に電話をかけた場合、リダイヤルには記憶されません。

補足

- 操作**1**、**2**の画面で◎（発信）を押しても電話をかけることができます。
- 本体のアドレス帳に登録されている相手に電話をかけると、ディスプレイには名前が表示されます。
- リダイヤルの電話番号は20桁まで表示されます。電話番号が20桁を超える場合は、操作**1**、**2**の画面で◎（表示）を押すと、選択している相手の電話番号を全桁（24桁まで）確認できます。
- リダイヤルの内容は電源を切っても消えません。
- 通話の状況によっては、すべての履歴が残らない場合があります。
- リダイヤルの件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に消去されます。
- 通話中にリダイヤルを確認する場合は、◎を長く（約1秒以上）押します。
- リダイヤルを表示中にMenu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**アドレス帳登録**／**アドレス帳追加**／**アドレス帳呼出**／**メール作成**／**184発信**／**186発信**／**1件消去**／**全件消去**